第１３号　～夢と希望のわが母校～　【本校の教育目標】
◎ 元気な子
○ 思いやる子
○ 考える子

光春小だより

練馬区立光が丘春の風小学校　校長　井上　靖
H26. 2. 28　〒179-0072 練馬区光が丘７-２-１　Tel 3976−5861　Fax 5383−3592

「快」と「不快」

校長　井上　　靖

４５年前の３月に降った大雪の翌日、学校で雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりしました。家の近くでは近所の仲間と一緒に、かまくらも作りました。北国の雰囲気を味わえるようにと友達の母親が小さなちゃぶ台を中に入れて、その上におやつをおいてくれました。

今年２月の関東地方は、記録的な大雪に見舞われました。亡くなった方やけがをされた方が大勢いらっしゃいました。道路や鉄道などが麻痺して、物資が届かず、孤立した地域もたくさんありました。

子供の頃、雪が降ると嬉しくて嬉しくて仕方ありませんでした。東京住まいでしたから、雪は当然珍しく、雪で遊べると思っただけで胸が高鳴りました。今はできませんが、雪を口にしておいしいと感じたことを今でも覚えています。

大人になった今、雪は好きとは言えません。降ってきた瞬間は久し振りと感じ、また父母の故郷を思い、一瞬ノスタルジア的な感傷にひたることができますが、明日の交通や学校の雪かき等のことを考えると心配になります。子供たちの安全な歩行等について考えすぎて、運動会の朝と同じような緊張感に包まれます。

先日、他校の研究発表会の折、講演会で講師から「コミュニケーション指導のポイント」について話を伺いました。その中で、音韻を認知すること、言葉の意味論を認知することが大事であるという話を聞きました。例えば、最近は「不快」であることを「ムカつく」の一言で表し、語彙能力が低下している。だから、どのように、どうして不快なのかを考えさせ言わせる必要がある旨の話をされていました。

「不快」とは、愉快でないこと、いやな気持ちになること、気分の優れないことですが、直接的な感情的表現（形容詞）で表すと、「つらい」「つまらない」「かなしい」「さびしい」「くるしい」「はらただしい」「こわい」「いたい」「むなしい」「わびしい」「せつない」「うるさい」「くやしい」「じれったい」…等が考えられるでしょう。

では「快」ではどうでしょうか。「たのしい」「うれしい」「きもちよい」「ここちよい」「こころよい」「おもしろい」「よろこばしい」「すがすがしい」「はれがましい」「うつくしい」「やさしい」「あたたかい」「かしこい」…等でしょうか。情況や感情に添った的確な言語表現が今の時代こそ必要な時代はないかもしれません。例えば、

・「あっ雪だ。チョベリグッ」ではなくて「あっ雪だ。雪遊びができるから嬉しい」
・「あっ雪だ。ムカつく」ではなくて「あっ雪だ。滑るとこわい」

という表現が大事だと思います。

本年度の学校生活も残すところ１か月足らずとなりました。三寒四温の時節と同じように、各学年の一つ一つの課題を解決して、進学進級する春を迎えたいと思います。「快」も「不快」もあった１年であったかと思いますが更なる高みを目指し、「不快」を解消しつつ次年度も笑顔あふれる光春小を築いていきたいと思います。

本年度１年間、保護者、地域の皆様からいただいた本校の教育活動へのご理解とご厚情に対して心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

【３月の行事等予定】

日	曜	行　事　等　予　定
1	土	
2	日	
3	月	全校朝会　四組遠足　保護者会３・４年　春小ひろば
4	火	
5	水	児童集会　６年生を送る会　お別れ給食会　春小ひろば
6	木	委員会活動
7	金	春小ひろば
8	土	
9	日	
10	月	全校朝会 安全指導 感謝の会　１～５年午前授業
11	火	校内研究のため５時間授業　４年二分の一成人式
12	水	クラブ発表集会　四組保護者会　代表委員会　春小ひろば
13	木	誕生日給食　四組消費学習
14	金	たてわり班　水曜時程　春小ふれあいタイム　春小ひろば
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会　春小ひろば
18	火	
19	水	児童集会　春小ひろば
20	木	給食終 大掃除 卒業式準備のため５時間授業
21	金	春分の日
22	土	
23	日	
24	月	修了式　卒業式予行
25	火	卒業式
26	水	春季休業日始
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

今月の避難訓練は、児童への予告なしで行うため、行事予定表には載せていません。

＊行事予定は変更になる場合があります。お手数ですが、必ず各学年だよりや学級だより等で再度、ご確認ください。

まだまだインフルエンザ流行中

昨年末から流行しているインフルエンザA型・B型、おなかの風邪が、まだまだ流行しています。本校でも、初めての学級閉鎖が今週になってからありました。3月も、うがい・手洗いの励行、換気の徹底を繰り返し指導をしています。ご家庭でも、お子さんが十分に体調を整えて登校できるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

＜3月の生活目標＞

一年間の生活を振り返ろう

生活指導部　　井上　慎美子

３月は、学校生活のすべてにおいてまとめの時期となります。

自分の頑張った点、努力が足りなかった点など、自分自身を振り返ることで、次の学年での目標や希望をもつことができます。

生活面においても、同様です。特に、春の風小のきまりに照らし合わせて、自分の生活を振り返らせていきたいと考えています。

＜３月のあいさつ目標＞

「おあしすさ」

心をつなぐ合い言葉□

5日(水)3･4校時･給食 6年生を送る会 お別れ給食会

卒業式に出席しない１～４年生にとっては、６年生とのお別れの大切な会です。学年ごとに心のこもった出し物を一所懸命練習しています。残念ながら保護者の方々の参観はできませんが、お子さんに励ましの声かけをお願いいたします。

26年度ひろば申込 お知らせ配布　6日(木)

来年度のひろばに参加する児童は、保険の関係で今年度中に申込みをします。詳しい内容は、応援団からのお知らせをご覧ください。

申込・集金日は、学年ごとに設定します。各学年からご連絡する申込日に一斉に回収できるようご協力ください。

地域のお年寄りの方と　～高齢者交流給食会～　　今井　結花

地域のお年寄りの方を招待し、交流給食会を行いました。８名の方に来ていただき、歌やゲームで６年生らしい「おもてなし」ができました。給食会は、戦争の話、現在の趣味など幅広く聞くことができ、始終、笑顔で会話が弾んでいました。普段はなかなか地域の方とのゆったりとした時間の中で過ごすことができないので、子供たちにとっても貴重な経験となりました。

二分の一成人式を行います。　　白畑　沙都

４年生では、３月11日の３・４校時に、保護者の方に立会人になっていただき、二分の一成人式を行います。十歳という節目の年に、夢に向かって努力を続け、力強く生き、社会に貢献できる大人になる意識を高めていきます。当日は、二分の一成人証書授与、将来の夢の発表、二分の一成人の誓いを一人一人が発表します。その後、全員で「フレンドシップ」を合唱します。

お忙しい中だと思いますが、是非ご臨席くださいますよう、よろしくお願いいたします。

５年生　わかば幼稚園と交流しました。　　黒岩　真英

２月２４日に５年生は、わかば幼稚園の年長園児と交流会を行いました。来年度１年生になる園児のために、学校の施設案内やひらがな教室、読み聞かせなどの活動をしました。給食や遊びの時間を通して園児を気遣う子供たちの優しさに、大変心が温まりました。

来年度、最高学年になる５年生にとっても、自信につながるよい経験となりました。

クラブ発表集会・３年生クラブ見学　　久保田　詩野

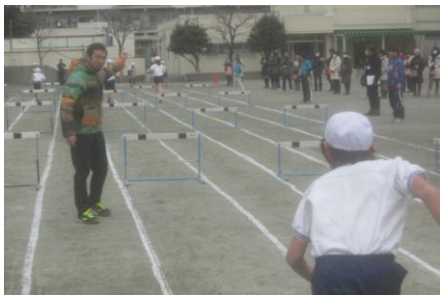
クラブ発表集会を行っています。各クラブ長の進行で、毎週３～４つのクラブが発表します。実際に演奏をしたり、踊ったり、目の前で試合したりするクラブや、今までの活動の写真を提示するクラブ、作品を見せてくれるクラブ等、様々な方法で発表をしてくれています。どのクラブもおもしろそうで、どのクラブに入ろうか迷ってしまいそうです。

２月２０日、来年度から初めてクラブに参加する３年生が、クラブの見学を行いました。楽しそうに活動する様子を間近に見て、来年度からのクラブ活動に期待を膨らませていました。

６年生を送る会と お別れ給食に向けて　　矢吹　奈緒子

３月５日の「６年生を送る会」「たてわりお別れ給食」に向け、運営委員や５年生のたてわり班長が中心となり、全校で準備に取り組んでいます。送る会では、各学年で出し物を考えています。お別れ給食では、たてわり班で給食を食べたりゲームをしたりします。今まで学校の中心として支えてくれた６年生。感謝の気持ちを込め、心に残る会にしていきます。

運動することの楽しさを学んだ最高の一日　　若井　理之



２月１３日に６年生は、世界陸上銅メダリストの為末 大先生と管理栄養士のこばた　てるみ先生をお招きして３時間の出前授業を行いました。トップアスリートや食育の専門家と触れ合い、指導していただいたことは、必ずや今後の生活に役立ってくることと思います。６年生はもう間もなく卒業を迎えます。今回の体験で感じたことや学んだことが、これから迎える輝かしい未来への一助になってくれるものと信じています。

親子でダンス！　　久保田　詩野

大雪の降る寒い日でしたが、体育館はダンスで大盛り上がり。講師のマリマリ先生たちと一緒に、楽しく体をほぐし、男女に分かれてダンスレッスンを受けました。先生や保護者の方からのアドバイスにより、子供たちは夢中になって踊り、発表会では大きな拍手が起こりました。最後に行われた講師の先生方の発表には、激しくかっこいいダンスに大人も子供も釘付けでした。リズムに乗って親子で一緒に体を動かし、楽しい時間を過ごすことができました。

たくさん学べた社会科見学　　小林　純一

２月２５日に社会科見学に行ってきました。今回の社会科見学は、朝からバスに乗って一日中の見学で、子供たちにとっては初めての経験でした。バス乗車中のマナーや見学時のマナーなどしっかり守って見学することができました。べじふるセンターでは、たくさんの野菜や果物と活気のある働く人々、ふるさと文化館では、昔の道具や暮らしぶり、練馬区役所では、防災設備と展望台からの絶景と多くのことを見聞きしてきました。これから見学したことをしっかりまとめていきます。

２年生学年活動（長なわとび）　　矢吹　奈緒子

クラス委員会の方が計画してくださった学年活動を行いました。この日のために休み時間や体育の授業を通して一生懸命練習を重ねてきました。縄に入ることができなかった子も諦めず練習して跳べるようになりました。当日は、あいにくの雪が降る寒い日でしたが、縄を回したり、一緒に跳んでくださったりしたお父さん、数を数えたり、笑顔で応援してくださったお母さん方のおかげでどのクラスもみんなで力を合わせて跳ぶことができました。勝ち負けに関係なく、一致団結するクラスの姿や成長した子供たちの姿が見られたと思います。すてきな会を開いてくださったクラス委員の方はじめ、保護者の皆様、ありがとうございました。

５年生社会科見学　　鈴木　智裕

１月２８日に社会科見学に行ってきました。今回見学に行ったのは、埼玉の「ＳＫＩＰシティ」と「ロッテ浦和工場」。ＳＫＩＰシティでは、テレビ番組ができるまでの流れや放送局での仕事について学び、ロッテ浦和工場では、お菓子の生産ラインについて見学してきました。子供たちは、実際に放送局で使われているカメラなどの機材に興味津々。また、ロッテでは、工場全体の甘い香りに興奮し、お土産には歓声が上がりました。

元気をくれた５人の実習生　～　からだであそぼうウィーク　　副校長　　濱中　一

１月２７日から３１日までの５日間、東京都教育委員会主催の「からだであそぼうウィーク」が本校で行われました。練馬区内で２５年度唯一の開催校となった本校には、今年の４月から小学校の先生になる５名が実習生として参加しました。体育の授業やクラブ活動で一緒に運動する姿、休み時間に子供たちと一緒に遊ぶ姿、廊下ですれ違う子供たちに元気にあいさつする姿。実習生はいつも笑顔で、春風小の子供たちの心と体を元気にしてくれました。どの学校に着任しても、子供たちに元気を与える素敵な先生になってほしいと思います。